

第1部

母親だからできること

～子育ての落とし穴～

2016年11月17日 高濱正伸

1 メシが食える大人に育てるために、まずおさえておいてほしいこと。

(1) 時間軸を意識する・・・私たちは経験を与えるために学校に出している。

- ① 赤い箱（幼児期＝オタマジャクシ）と、青い箱（思春期＝若いカエル）
- ② 赤い箱の注意点・・・神の子、相手の本質を知る、男子のツノを折らない。
- ③ 青い箱の注意点・・・師匠、同性の親
- ④ 自立を妨げるもの・・・事件化（親がケンカに乗り込み、子は友を失う）

(2) 母の孤独

- ① 時代的病と思いきる。
- ② がんばり精神は逆効果・・・心からニコニコママになるために
- ③ 男 vs 女・・・「強い信頼」で結ばれるために
- ④ 安心カードを持つ・・・ママ友・母・姉妹・仕事・アイドル etc

2 母親だからできること 失敗の事例から

◇小6男子 塾ジプシー、いじめられ

- 条件付きの愛情・・・成績表の束とコンビニ弁当
- もめごとの経験不足・・・「けんかは悪」の無菌教育

○お母さんに求められること

- ① 社会で活躍する人の共通点
- ② 「もめごとはこやし」・「失敗はこやし」の構え
- ③ 「生きているあなたがOK」のメッセージを。
- ④ もしも我が子がトラブルにあったら
「被害」ではなく「たくましく育つ試練」ととらえる。
赤い箱・・・カウンセリングマインド。
青い箱・・・いつも通りの家を保つ。
- ⑤ 人が自殺しない理由、死線をさまよう人は
- ⑥ 母親だからできること・・・安心の場所、帰るところ、最後のとりで
- ⑦ 「我が子がとても心配」なだけで、十分素晴らしいお母さん

花まるグループの講演会
情報が見られます！



第 2 回家庭教育学級

『母親だからできること ～子育ての落とし穴～』開催のご報告

11 月 17 日（木）、「花まる先生」こと、花まる学習会の高濱正伸先生を迎え、講演会を開催いたしました。当日は 160 名ほどの保護者の皆さまのご参加があり、ランチルームは満席の状態で大盛況となりました。高濱先生のテンポあるお話に、会場は笑いにつつまれ、学びあり、時に涙あり、有意義な時間でした。ご参加された方の中には、著書を読まれている方や、幼稚園等で講演を聞かれて 2 度目、3 度目といったリピーターの方もいらっしゃり、高濱先生の根強い人気うかがえました。



参加者からいただいた感想など

子育てに対する勉強にもなり、自分の気持ちの持ち方や家族の在り方など、これからの生活に役立てていきたいと思います。

いつもぼんやりとグレーに考えていることを、今回はそのまますべてを代弁していただいた感じでとてもスッキリしました。

どの話も、まさに自分の事を言われているようで、皆さん同じような思いを持ちながら子育てをしているなと思い、心強い気持ちになりました。

これから思春期を迎える子に対する心構えができて助かりました。

子どもにとって、母親が大きい存在ということをもっと自覚しないといけないと考えさせられました。

反抗期が始まった子どもに対し、本気のバトルを繰り返している自分がイヤでたまらなかったのですが、先生の話聞いてハッとしました。笑顔を忘れていた自分、毎日イライラしている自分。これからは少し気をつけて過ごしてみます。

子どもの年齢によって対応を変えること、具体的に教えていただきとても分かりやすかったです。

母の孤独については考えさせられ、どんどん外へ出て、人の話を聞いたり、会話したり、楽しむようにして、家庭での自分の気持ちを上げていきたいです。

夫にも、ぜひ、一緒に聞いてもらいたかったと思いました。

ご多用の中、多くの皆さまにご参加いただきましたこと、感謝申し上げます。3 学期の家庭教育学級は、プロ登山家 竹内洋岳氏 による講演会を予定しています。こちらもどうぞお楽しみに。

